

Special needs education

個に応じた指導の推進③

～通常学級での具体的な支援～

今回のテーマは、「学級担任が行っている支援」です。

通常学級で学級担任が日々実践している特別な支援や教育的な配慮をご理解いただき、子供たちのためにできる家庭の役割ということを再考していただければ幸いです。その上で、学校の役割、家庭での役割ということを共に理解し、再確認し合いながら、本当の意味で「(将来的に)子供のためになる支援・配慮」を構築できたらと考えています。

1. 「学級担任が行っている支援」とは？

学級担任が行っている支援や特別支援は、大きく分けて以下の二つになります。

【直接的支援】 子供に直接指導したり、対応したりすること
【間接的支援】 教育的な配慮

直接的支援では、子供が学級担任から支援を受けられてよかったと感じられることが重要です。担任がよかれと思ってかけた支援の言葉や対応が、逆に子供にとって自信を失うきっかけになったり、自己否定感につながったりするものでは本来の支援になりません。注意を促すような場面でも、他の子供の前で自己否定をせざるを得なくなるような叱り方ではなく、個別にするといったような教育的な配慮を心がけています。

間接的支援は、簡単に言えば「教育的な配慮」です。授業や生活場面での教育的配慮は、子供が失敗しやすいことや困難と感じられることを予想して、可能な範囲で予防的な支援を行うことを意味しています。

2. 支援の内容・方法は？

【直接的支援の内容・方法】

- ① 授業中の個別支援
 - ・一斉指示をした後に再度個別に指示をする。
 - ・対象の児童個別指導を行う。等
- ② 生活場面での個別支援
 - ・給食準備を手伝う。等
 - ・清掃指導を個別に行う。等
- ③ 休み時間や放課後等の対応
 - ・子供と話をする。
 - ・放課後に学習の補強を行う。
 - ・交換ノートをする。等

【間接的支援の内容・方法】

- ① 情報の共有化
 - ・保護者との共有
 - ・教職員間での共有 等
- ② 授業場面での配慮
 - ・学習ルール等の確認を毎時間する。
 - ・わかりやすい指示や板書をする。等
- ③ 生活場面での配慮
 - ・社会的なスキルを補足する配慮を心がける。等
- ④ 記録の蓄積
 - ・支援を振り返る。等

* 詳細は、裏面「通常学級で可能な支援アラカルト」をご参照ください。

【教育目標】 未来を生きぬく、心豊かでたくましい子供の育成
思いやりのある子 **明るく元気な子** **99んで学ぶ子**

通常の学級で可能な支援アラカルト

支援	概要	支援の内容・方法
直接的支援	◆その場での指導・支援	◇成功・成就感を生み出すための支援 ① ほめて学習意欲等をもたせる ② 個別指導 ③ 個別の指示や指示内容の確認 ④ 学習の正誤の確認 等
	◆時間を設けての指導・支援	◇成功・成就感を生み出すための支援 ① 休み時間や放課後の時間の利用 ② 交換ノート等の利用 等
間接的支援	●情報の共有化	○支援の基盤 ① 保護者や特別支援教育コーディネーター等、他の教師との連携、情報交換 ② 特別支援教育部会や事例会議での検討 ③ 情報を指導・支援に生かすアイデア ④ 個別の教育支援計画の作成
	●授業場面での配慮	○成功・成就感を高めるための支援 ① 刺激の少ない学習環境の設定 ② 自己管理可能な座席の配置 ③ 時間内の学習予定の予告 ④ 学習ルール等の確認 ⑤ わかりやすい指示の出し方 ⑥ わかりやすい板書の工夫 ⑦ 活動や作業に従事するための時間配分の予告 ⑧ 別課題や別作業等の準備 ⑨ 時間内で終了可能な学習の分量 等
	●生活場面での配慮	○社会的スキル(技能)をカバーするための支援 ① わかりやすい掃除や給食当番表の作成 ② 係活動等の具体的な仕事の提示 ③ 活動や作業に従事するための時間配分の予告 ④ 友人関係への先回りした配慮 等 ○自己管理を可能にする支援 ① 自分の物が管理しやすい用具の準備 等
	●記録の積み上げ	○支援を客観化するための手段 ① エピソード記録の収集 ② 特別な記録表の作成 等

いつでも受け付けています!!

特別支援教育相談

(TEL 773-8901)